

承認番号	2020-124
研究課題名	膀胱癌に対するロボット補助膀胱全摘除術と腹腔鏡下膀胱全摘除術の検討
研究の意義・目的	進行性膀胱癌に対する膀胱全摘除術において、腹腔鏡手術とロボット手術が行われてきました。 今回両方の治療成績や合併症を比較することによって、適切な手術方法について検討いたします。
研究を行う期間	開始は委員会承認後～2021年12月31日
研究対象者の範囲	2011年4月1日～2020年4月30日に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、膀胱癌に対してロボット補助膀胱全摘除術もしくは腹腔鏡下膀胱全摘除術を受けた方が対象です。
お願いする内容	□大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。
	以下の診療情報を使用させていただきます ① 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、病期ステージ ② 血液検査 ③ 手術情報(手術時間, 出血量, 等) ④ 術後合併症
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学講座 大年 太陽
この研究を行っている施設（共同研究機関）	なし
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology/
研究の成果を公表する方法	集計され解析された結果については、海外英文雑誌に投稿する予定である。 またこれは個人が特定されない形で行われます。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 大年 太陽 電話：06-6645-3857